

2020年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	社会学部・教授
	氏名	H. リーダーバツハ
海外客員 教員	所属・職	King' s University College at the University of Western Ontario, Professor
	氏名	Stephen Lofts
招聘目的	1. 授業担当 ○;2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2020年11月17日 ~ 2021年 3月16日	
成果報告 以下の内容を記載して 下さい。 ①授業担当 ・科目名 ・成果 ②共同研究 ・共同研究の内容 ・成果 ③特別枠 ・活動内容 ・成果	<p>Lofts教授との共同研究の成果は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究論文「Cassirer in Japan」の目的は、明治時代における背用思想の摂取を背景としながら、ドイツ新カント学派に属するE .カシラーと京都学派の創設者たる西田幾多郎が共有する、文化哲学に関する問題意識、方法論等を分析し、西田研究への新たな視野を開けることであった。(Journal of Japanese Philosophy 刊行予定) 2. 研究論文「Jacques Derrida, Dōgen Kigen, Nishida Kitarō: The aporetic logic of the singular event of thinking language-being-time」普遍的な問題としての「全体性と個別性の関係性」をデリダ、道元、西田がなす思索の布置状況において検討することが当論文の目標である。(Journal of Nishida Philosophy 18 刊行予定) 3. 研究発表「The self-awakening (expressive realization) of the place of the symbolic」International Association of Japanese Philosophy, Conference 2021: “95 years after the birth of Nishida philosophy: Basho as symbiosis of non-human and human” 上記論文2に基づく研究発表。 4. 研究論文 “Cassirer, Heidegger, and Miki: The Ladder of the Imagination,” in ed. Ralf Müller, <i>Kyoto in Davos: The Question of the Human from a Cross Cultural Vantage Point</i> 刊行予定。 	